

## 1. 授業のテーマと到達目標

### 講義のテーマ

・経済学的アプローチから交通を取り扱った講義として「交通論」が提供されているが、本講義では主に「交通論」では扱われていないトピックについて講義する。交通は、土木系の学科でも工学的なアプローチから多くの研究が行われている。本講義では、経済学（・経営学）系と工学系のギャップを埋めるような内容を提供する。多くの大学生は経済学系あるいは工学系の一方しか学修しないことが多いと考えられるため、その意味でも「交通論」とともに本講義を受講することを推奨する。

### 講義の到達目標

- ・4段階推計法，非集計モデル，需要予測の基本的な考え方について理解できる。
- ・交通問題について経済学系と工学系の両方のアプローチから考えることができる。

### Module outline:

- The School of Business Administration offers Transport Economics ('Koutsuuron') module, which teaches transport from economic point of view, but this module mainly teaches topics not taught in 'Koutsuuron'. Transport also is studied from engineering point of view, for example in the Department of Civil Engineering. This module offers contents which bridge the gap between economic (or, business) and engineering approaches. Since most university students study transport from either economic or engineering approach, it is strongly recommended that students take both 'Koutsuuron' and this module.

### Expected achievements:

- Students will understand basic principles of four step method, disaggregate model, and travel demand forecast.
- Students will be familiar with both economic and engineering approaches to understanding transport problems.

## 2. 授業の概要と計画

1. トリップ
2. 社会資本と交通
3. 4段階推計法（生成，発生・集中）
4. 4段階推計法（分布，分担，配分）
5. 非集計モデル
6. 需要予測の事後評価
7. 公共交通利用促進策

1. Concept of trips
2. Infrastructure and transport
3. Four step method (production, generation and attraction)
4. Four step method (distribution, modal split, assignment)
5. Disaggregate model
6. Ex-post evaluation of travel demand forecast
7. Promotion of public transport usage

## 3. 成績評価と基準

### 成績評価の方法

- ・期末試験
- ・レポート
- ・講義への貢献

### 成績評価の基準

・レポートと期末試験で評価するが、レポート重視、試験重視などの複数の基準で評価し、学生にとって最も有利なものを採用する。講義への貢献は適宜加点する。

#### Grading method

- A term exam
- A report
- Contributions to class discussions

#### Marking criteria

- Marking is based on the report and term exam. Final marks are calculated based on multiple criteria (applying different weights to the report and exam) and students will benefit from the highest marks from these criteria. Additional marks are provided for those who contribute to the class discussions.

#### 4. 履修上の注意(準備学習・復習、関連科目情報等を含む)

##### 履修上の注意

「交通論」，平成 23 年度前期，平成 24 年度前期，平成 26 年度後期，平成 27 年度後期の「外国書講読（担当：三古展弘）」を履修していると理解しやすいでしょう。ただし，これらの科目を履修していなくても問題がないように講義を進めていく予定です。

##### 準備学習・復習

講義中に関連する文献を示しますので，それを読むことが必要です。関連文献を読んでいることが前提となるレポートや期末試験にする予定です。

#### 5. オフィスアワー・連絡先

講義中の質問を歓迎する。オフィスアワーは設けないが，電子メールによる質問や電子メールでアポイントメントを取った上での質問にも対応する。

#### 6. 学生へのメッセージ

交通に関して興味のある学生は是非受講してください。本講義は臨時増設科目のため，来年度以降の開講は未定です。2 年生の受講も歓迎します。

#### 7. 今年度の工夫

「交通論」では詳しく取り上げられていない話題について講義する。

#### 8. 教科書

教科書は用いない。

#### 9. 参考書・参考資料等

講義中に指示をする。

#### 10. 授業における使用言語

日本語。

#### 11. キーワード

交通 交通計画 4 段階推計法 非集計モデル 需要予測

#### 12. 参考URL

<http://www.b.kobe-u.ac.jp/~sanko/lecture-j.html>